

KagoGIGA

インフォメーション

令和6年11月号 ㊼

鹿児島県教育庁高校教育課 学校教育ICT推進班

今回の
話題

かごしま「教育の情報化」フォーラム開催!

10月30日(水) カクイックス交流センター

今年はメインテーマを「『意識改革』次のステージに向けて」とし、講演やパネルディスカッション、事例発表を行い、そのすべての様子をオンラインでも配信しました。会場では企業展示も行われ、総計323人(うちオンライン参加118人、県外からの参加41名)の方々に参加していただきました。



午前中の分科会では、本県の先進的な取り組みや実践をされている先生方の事例発表や日本マイクロソフト株式会社の中田寿穂氏の講演が行われました。午後には「GIGAスクール構想による学びの変化とこれからの学び」をテーマに、鹿児島国際大学の辻慎一郎准教授のコーディネートのもと、小学校から高等学校までの児童生徒そして先生方が登壇してのパネルディスカッション、その後の講演では、講師に文部科学省 学校デジタル化プロジェクトチーム サブリーダーの渡部剛士氏を迎え、「2ndGIGAで目指す新たなステージ」をテーマに国の施策の方向性や学校教育における生成AIの活用等貴重なお話をいただきました。

各分野で先進的に取り組んでおられる先生方の熱意、そして子供たちの想いに直接触れることで、参加者の皆さんが、鹿児島の教育の情報化の「今」を見つめ、「これからの鹿児島の教育」を考える機会になったのではないかと思います。



参加者の感想

✓ 分科会（事例発表・講演等）

- 高校同士の連携した学習に「すごい！」の一言だった。（30代・義務教育学校）
- 生成AIを一つのモデルとして、生徒の学びを深めるという考え方は、様々な校種、教科の学習活動に活用できそうだと思った。（50代・小学校）
- 専門高校同士が特色を生かして連携すると、こんなにも深い課題研究ができることに感動した。（40代・高等学校）
- 県内にも様々な実践をされている先生方がいらっしゃるということがわかり、大変勇気をもらった。（30代・中学校）
- 研究に取り組んでくださった先生方の熱意と挑戦が伝わってきた。（40代・小学校）
- 発達段階に応じてできるところからやっていこうという前向きな気持ちになった。（20代・小学校）
- 学校間や異なる分野での協力でICTを使うのはとても良い方向だと思った（50代・中学校）
- 教師主体ではなく児童生徒が自ら取り組む学習を、ICTで効果的に取り組めることに驚いた。（50代・企業等）



✓ パネルディスカッション

- 子供が主語の学校づくりの必須のツールとして、ICT機器があるが、使用している児童生徒の感想を聞いたことが大いに参考になった。（50代・小学校）
- 子供たちの登壇が、画期的だった。「学び」は、教師のモノから、子供たちへと変わっていったとき、本物になる予感がする。（50代・小学校）
- 他校種の取り組みを知ることは小中高連携で必ず必要だと思うので、これからもこのような研修に積極的に参加していきたい。（20代・高等学校）
- 子どもたちや各校種の先生方、それぞれの思いや考えを聞くことができてよかった。新たな試みが面白いと感じた。（20代・小学校）
- 小中高それぞれ発達段階に応じて、上手にタブレットを利用していることがわかった。大島高校の生徒さんが、「部活の試合等で学校を休んだ時に、動画を視聴できる」と話されていたのが印象的だった。（40代・高等学校）
- 抱えている課題は共通するものが多くとても参考になった。前向きに2ndGIGAに向き合っていきたいと感じた。（50代・小学校）



✓ 講演

- タブレットを持ち帰ることができれば、連絡や授業の補習等活用できることが多々あると感じた。（20代・小学校）
- 2ndGIGAを始めとして最新のICTに関する情報を知ることができ、パネルディスカッションでの話題ともリンクして聞くことができ理解が深まった。（50代・小学校）
- 様々な面での格差が生じない工夫や各自治体や学校のネットワークの改善が早急に必要だと感じた。（50代・中学校）
- 2ndGIGAに向けて、より生成AIを活用し、その利便性や限界を知った上で校務DXに役立てていきたい。（20代・特別支援学校）
- 国の施策について、具体的な資料を使われてわかりやすく説明していただいた。これからは、教科の資質・能力をどのように伸ばしていくかを職員と熱く語ってきたい。（50代・小学校）
- GIGAスクールのおかげで生徒の環境は改善したが、教師の環境はそれに追いついていないために、導入が進まない一面もあると感じていたが、現在の環境でもできることがあることがはっきりした。（50代・中学校）
- 深い学びを得るための必要な要素や各自治体や各学校が、誰一人取り残さない学びをどれだけ実現させていけるかイメージしながら取り組んでいきたい気持ちが強くなった。（50代・高等学校）



✓ 企業展示

- 普段使っているアプリの詳しい使い方や機能を教えてもらったり、もっとこうしてほしいという意見を聞いてもらったりして、有意義な時間を過ごすことができた。（30代・小学校）
- 各社の教育に情報を普及させようという取組やアイデア商品、情報機器などいろいろなことを目の当たりにして、情報も聞けて勉強になった。（50代・高等学校）



《参加者の内訳》

校種等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校	行政・教育機関	私立学校	大学・専門学校生	大学・専門学校等教職員	その他の教育関係者	一般・保護者	企業等	合計
参加総数 (うちオンライン)	57 (22)	44 (13)	3 (0)	56 (20)	17 (1)	53 (18)	6 (2)	3 (2)	14 (11)	16 (10)	3 (1)	51 (18)	323 (118)